

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総 務 課

(単位:千円)

番号	事業名	課 名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係 名	総合評価	説 明						
1	出会い・婚活の場の提供	総務課	手法改善	委員の手作り感や温かみのあるイベント運営は好評を得ており、さらなるマッチング率向上のため、委員と協議を行い、イベント内容等の改善を図る。	婚活イベントを2回企画し、1回目は男女5人ずつ参加で、3組のマッチングが成立した(マッチング率60%)。2回目は、応募者が定員に満たず、開催中止となった。	現状維持	下諏訪町社会福祉協議会で行っている結婚相談所事業と情報共有や連携を行い、参加したいと思えるイベントの企画やマッチング率の向上が図れるような手法を検討していく。予算は令和5年度と同程度を前提とし、予算を計上する。	389	359	▲ 30
	02-01-06-12-01	企画係								
2	姉妹都市交流事業	総務課	手法改善	下諏訪町に南知多町の児童を迎えて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から対面で開催する交流事業は令和5年度に延期とし、オンラインにより交流を行った。令和5年度は、開催方法等をコロナ前の状況に戻すため、実際に会って開催できるよう交流事業を計画していく。	新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが5類に移行したことから、直接両町を行き来して実施する交流事業を令和元年度以来4年ぶりに南知多町児童を下諏訪町に迎えて開催した。	現状維持	令和6年度は南知多町での開催となる。前回南知多町で開催された令和元年度と同程度を前提として、参加者に自己負担いただく部分を明確にしたうえで、町としての負担額を予算計上する。	643	631	▲ 12
	02-01-06-40-01	企画係								
3	公会所施設整備に対する助成	総務課	拡充	地域コミュニティの拠点となる施設の利便性向上と災害時の避難所機能向上のため、引き続き補助制度の周知を行い、適正な予算確保に努めていく。各区・町内会の資金計画等に沿って、計画的に事業が実施されるよう対応する。	令和5年度には、3町内会に対して、1件の改築事業、1件の改修事業、1件のLED照明器具設置事業、2件の冷房設備設置事業について補助金を交付した。令和5年9月区長会において令和6年度活用意向調査を行った。	縮小	新築等大規模な事業予定はないが、各区・町内会からの活用意向に基づき、所要の予算措置を行い、地域コミュニティの拠点である公会所等の整備・充実を図る。(改修2件、バリアフリー改修1件、LED設備設置2件、冷房設備設置3件予定)	5,410	3,250	▲ 2,160
	02-01-01-20-01	企画係								
4	おでかけ町長室事業	総務課	手法改善	新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況下であったため、令和4年度は活動成果が目標値を下回った。「身近で親しみやすく開かれた行政の実現」のため広聴の機会を充実させることが重要であり、今後も周知広報に努める。	おでかけ町長室を2回開催し、計43人が参加した。事業の周知を図るため、各種団体へのチラシ配布、庁舎・図書館等公共施設への配架、クローズアップしすわへの掲載を行った。	現状維持	貴重な広聴機会ととらえ、会場借り上げ料を予算計上する。開かれた行政の実現を目指し、引き続き事業の周知に努める。	36	27	▲ 9
	02-01-06-05-01	企画係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総 務 課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
5	(新)住民満足度調査事業	総務課	廃止	令和4年度限りの事業であり、予定どおり当該年度中に調査の実施及び結果の公表が終了したため廃止。						0
	02-01-06-38-01	企画係								
6	(新)学生激励事業	総務課	廃止	事業終了による廃止。						0
	02-01-06-44-01	企画係								
7	御柱祭関連事業	総務課	廃止	新型コロナの感染拡大の影響により、山出し祭が中止に、里曳き祭は検査を実施した者のみ参加できるなど、当初の想定とは全く違う展開になり、それぞれ直前まで対応が決まらない部分などがあったが、対応可能な範囲で所期の目的は達成できたものとする。						0
	02-01-01-24-01	秘書室								
8	防災・減災対策の推進と意識の高揚	総務課	拡充	昨今、災害が頻発しており、地域防災力の強化は、重要度を増しているため、総合防災訓練等、災害を想定した実践的な訓練を実施して自主防災組織の強化を図るとともに、さらなる防災意識の高揚が重要であることから、防災士の養成や防災ミニ講座を促進し、地域防災力の強化とともに住民の自助意識を高めていく。	福祉部門と連携して、個別避難計画の策定を進めるとともに、防災ネットワークしもすわの協力を得て、向陽高校2年生を対象とした防災講座をはじめ各種団体からの依頼を受け防災ミニ講座に講師を派遣した。 また、地域防災力強化のため各区に分散備蓄している食糧の補充更新、防災訓練の実施に係る経費、資機材等の充実のため補助を行った。	拡充	福祉部門と連携して、個別避難計画の策定を進めるとともに、地域のニーズを捉えた防災ミニ講座等を促進する。各区においては、自主防災組織活動事業補助金を活用した防災用資機材等の充実を図るとともに、防災ネットワークしもすわの活動を支援し、地域防災力を強化する取組みを進める。また、町防災行政無線を確実に運用するため、年次計画的に設備等の更新を実施していく。	23,025	35,165	12,140
	02-01-10-05-01・10-01・12-01	情報防災係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総 務 課

(単位:千円)

番号	事業名	課 名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係 名	総合評価	説 明						
9	電子自治体の推進	総務課	拡充	本事業については、行政サービスに即した新たなシステムや機器の導入が必要であり、多くの費用を要する事業である。一方で、国、県及び諏訪地域においてIT技術を取入れた行政サービスが推進すると予測される。県及び諏訪地域6市町村と情報を共有し、共同利用で一層のコスト削減を図るとともに、情報管理を徹底し、情報漏洩等が無いよう、維持管理していく。	各種情報システムについては、安全かつ確実な運用がされている。財務会計システムのインボイス対応、ホームページのセキュリティ強化、公開型GISシステム及び住民通報システムの構築、メール配信システムの更新を進めた。	拡充	各種情報システムを安全かつ確実に運用するとともに、システムの導入や改修については、共同利用によりコストの削減を図る。令和7年度中に移行が求められている自治体情報システムの標準準拠システムへ確実に移行できるよう準備を進めていく。	98,548	99,735	1,187
	02-01-12-10-01・12-01・14-01・16-01	情報防災係								
10	土地開発公社への補助	総務課	縮小	赤砂崎公園整備事業にかかる売却損に対する補助は令和4年度をもって終了したが、引き続き、赤砂崎開発用地にかかる借入利子補助を行う。	赤砂崎開発用地にかかる借入利子補助について、令和6年3月に執行予定。	現状維持	引き続き、赤砂崎開発用地にかかる借入利子補助を行い、借入金額増加の抑制を図る。	943	943	0
	02-01-04-05-01	管財係								
11	(新)デジタル化推進事業	総務課	拡充	令和4年度に総務課にデジタル推進室を設置して開始した事業であり、下諏訪町DX推進計画に掲げた施策に加え、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を実現するための施策を実施する。令和5年度には、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して、キャッシュレス決済導入事業とGIS改修事業に取り組む。	キャッシュレス決済導入事業とGIS改修事業については、本格稼働日を11月1日と定め、良好な進捗を得ている。評価指標として設定した行政手続のオンライン化率は、年度当初の庁内調査の結果36%となり、前年度調査結果の12%から順調に拡大している。	縮小	令和5年度にキャッシュレス決済導入事業が完了したことから、比較的規模の大きい事業費の予算計上がないものの、デジタル化の推進に資する事業費は各課において適切に計上されており、引き続き全庁的な業務改善や事務効率化、国庫補助申請等の事務に注力する。	13,128	9,015	▲ 4,113
	02-01-13-05-01	デジタル推進室								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	個人番号関連事業	住民環境課	拡充	令和4年度のマイナンバーカード申請数については、マイナポイント、夜間延長申請窓口、大型店舗での出張申請等により大幅増となった。今後も国が進める「ほぼ全ての国民」へのマイナンバーカード普及を目指す。	「マイナポイント第2弾」によるマイナンバーカードの駆け込み申請の余波により、4月以降もマイナンバーカード交付のため休日窓口の延長対応を行った。	縮小	会計年度任用職員1人減及び申請サポート委託業務終了により業務規模縮小をする。引き続き国の動向に注視しつつ交付率向上に努め、申請・交付サービスは、現状維持とする。	13,307	10,266	▲ 3,041
	02-03-01-14-01	総合窓口係								
2	コンビニ証明書交付事業	住民環境課	拡充	マイナンバーカードの交付増に伴い、コンビニでの証明書発行件数は2,293件で、前年度比で約2倍に増加し、コンビニでの証明書交付の割合は、全体の約13.5%を占める。引き続きコンビニ証明書の発行のメリット(土日交付や利用時間:午前6時30分から午後11時)などの利便性についてPRをしていく。	マイナンバーカードを利用したコンビニ証明書交付サービスによる証明書発行数は、例年よりも増加傾向にある。	現状維持	システム更改年度となる。引き続きマイナンバーカードを利用したコンビニ証明書交付サービスの周知を図る。	5,019	5,339	320
	02-03-01-16-01	総合窓口係								
3	狂犬病予防対策事業	住民環境課	手法改善	市町村長は、狂犬病予防法により、犬の登録管理や狂犬病予防注射を受けた飼い主に注射済票を交付しなければならないとされているので、引き続き事業として接種率100%を目指す必要がある。	諏訪獣医師会と連携して、未注射の飼い主を対象に電話にて注射接種の勧奨を行った。	現状維持	電話による注射接種の勧奨を引き続き行うとともに、クローズアップしやすや啓発チラシによる広報活動を行う。	238	240	2
	04-01-07-14-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								
4	交通災害共済事業	住民環境課	手法改善	交通災害を被った方の生活安定に寄与する“相互扶助制度”であることをご理解いただけるよう、一層の周知を行い、会員数の維持に努めていく。また、町内会未加入者、転入者を対象にしたインターネットでの申し込み、オンライン決済の導入を目指し、関係者と調整を図る。	町内会未加入者、転入者を対象にしたインターネットでの申し込み、オンライン決済を導入した。若者の加入促進のため、小学校来入児の説明会資料にパンフレットを同封。また、全国交通安全運動にあわせてメール配信にて呼びかけを行った。	現状維持	事業周知用のパンフレットを刷新し、加入のメリットを記載するほか、視覚的に見やすいものにしていく。インターネットでの申し込みを町内会加入者にも広げ、加入者増を図る。	14,000	14,000	0
	交通災害共済事業特別会計	生活環境係 R6～:生活相談係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
5	消費者団体の育成と消費生活の知識普及	住民環境課	手法改善	全市民が安心・安全な消費生活を送るため、必要な知識の普及をするための各事業を実施する必要がある。万が一生活したトラブルについては、県消費生活センターや近隣市町村、警察等と連携を図り、被害者の救済に努める。	全国地域安全運動などの期間中に、防犯対策をより高める運動として、メール配信サービスやしもすわインフォにおいて、特殊詐欺等防止機器購入補助金の制度周知する。消費者の会と協力して、消費者被害防止のための講演会を開催し、住民に周知を図った。	現状維持	特殊詐欺等防止機器購入補助金の制度を令和7年度まで延長させたことから、引き続きメール配信時に周知を図るとともに、携帯電話での被害防止も想定に入れ、警察や防犯協会と協力してチラシ等を作成し住民周知を行う。	581	563	▲ 18
	02-01-07-05-01	生活環境係 R6～:生活相談係								
6	更生保護活動の支援	住民環境課	手法改善	犯罪を犯した人の更生は、公にできない部分が多いが、少しでも多くの町民に理解していただく啓発活動が必要である。また、地域での取組が重要であるため、町も積極的に活動を支えていく必要がある。	保護司会、更生保護女性会の活動はコロナ禍以前に戻し、予定どおり実施。「社会を明るくする運動」作文を学校に依頼する際に、保護司会役員が直接担当する先生に手渡し、できる限り全校児童からの提出をお願いした。	現状維持	引き続き啓発活動等を実施する。	252	252	0
	02-01-09-05-01	生活環境係 R6～:生活相談係								
7	ごみ分別推進アプリ	住民環境課	拡充	全市民のごみ出しの不安を解消するため、さらなる登録者の増加が必要になる。アプリの登録が難しい高齢者には、引き続き窓口で設定のサポートをしていく。住民からの問い合わせの際にアプリの登録を依頼するとともに、月例収集等イベント時に周知を行い、さらに充実した事業となるよう努めていく。	各区の衛生自治会役員に登録を進め、地域に広がるよう周知をお願いしている。毎月の月例収集や町へのごみの分別についての電話相談の際にアプリの登録をお願いし、登録者の増加を図っている。	現状維持	登録者の増加のため、イベントなどでの周知を図る。	304	304	0
	04-02-02-05-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								
8	生ごみリサイクル事業	住民環境課	手法改善	循環型社会の構築をめざし、生ごみリサイクル事業を民公協働事業として実施している。今後も生ごみリサイクル推進委員会と協力し、事業を着実に継続していくとともに、事業参加世帯が増えるよう事業のPRも進めていく。	申込方法にLoGoフォームを追加し、若者の加入促進を図る。諏訪湖クリーン祭において、生ごみリサイクルブースを設置し、来場者に参加を呼びかけた。	拡充	引き続き啓発活動を実施する。生ごみ処理単価増額への対応及び地球温暖化対策の一環として、生ごみ処理機器購入に対する補助を増額するため、所要の予算を計上する。	10,586	11,770	1,184
	04-02-02-16-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
9	環境衛生事業	住民環境課	拡充	衛生自治会はごみ地区収集場所の管理、大型危険物収集の開催、家庭ごみの減量化を推進する環境に関する地区のリーダーの担い手として重要な役割を果たしている。駅東リサイクルステーションの不法投棄の防止、早期発見のため、不法投棄監視連絡員を配置している。	ごみ収集場所の位置がパソコンやスマホで確認できる地図情報サイト「しもすわi-Map」を導入し、町内転居者や町外からの転入者が確認しやすくなった。駅東リサイクルステーションの不法投棄防止のための監視員を配置し、分別指導を呼びかけた。	現状維持	駅東リサイクルステーションの違反ごみを監視指導するための不法投棄監視連絡員を配置し、引き続き利用マナー向上のための周知を行う。	4,541	4,167	▲ 374
	04-01-06-05-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								
10	環境の保全	住民環境課	手法改善	環境基本計画に基づき、諸施策を実施している。環境保全活動の一部は、美化活動など繰り返しの作業だが、関係機関や住民と共に継続して実施していくことが重要である。また、近年はヒシや外来動植物に加えて、海洋プラスチックごみの原因となる河川のごみも大きな問題となっており、これら諸問題を関係機関や住民と共に解決していく。	新型コロナウイルス前の参加者数を目指して、しもすわインフォ等の広報媒体を利用して清掃作業の周知を実施している。	現状維持	町内や諏訪湖の美化活動を継続するため、湖浄連や清掃支援団体等と協力して、定期的な清掃活動を実施する。	424	477	53
	04-01-07-05-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								
11	循環バスの運行	住民環境課	手法改善	「あざみ号」では、地域公共交通計画の策定に向けた庁内プロジェクトを立ち上げ、下諏訪町内の公共交通全般の課題の洗い出しを行い、次年度の計画策定に向けた準備を実施した。「スワンバス」では、老朽化した代替車を更新したほか、スマホ乗車券の導入準備を実施した。	あざみ号を含む地域公共交通を検討する協議会を立ち上げ、地域公共交通計画の策定に向けての調査として、乗降調査を実施し、利用者の意見を聞きながら、ニーズや課題を把握している。	縮小	バス、タクシー、鉄道、運輸の今後について検討する「地域公共交通計画」の策定を行う。令和元年度に購入したバス車両の減価償却が終了することから、令和6年度予算は縮小。	47,441	43,982	▲ 3,459
	02-01-09-10-01	生活環境係 R6～:生活相談係								
12	資源物等の処理	住民環境課	手法改善	人口減少を見込んだ「ごみ処理基本計画」に基づき目標値を設定している。駅東リサイクルステーションの活用によりごみの分別が進んでいるが、引き続き資源物を含めた廃棄物の発生を抑制する意識の向上のための広報、周知を行う。	ごみ分別アプリや月例収集、お盆や年末年始のごみ収集の案内回覧等を通じて、廃棄物の発生抑制のための周知を行っている。駅東リサイクルステーションでは持込みルール徹底を図るため、看板による啓発を実施した。	現状維持	令和7年度からのプラスチック資源化に向けて、モデル地区による処理量の把握や収集から処理までの工程、住民への説明会の開催をスケジュールどおり実施する。イオン諏訪店の新店舗開店に向けて、駅東リサイクルステーションの運営方針を検討する。	100,483	103,868	3,385
	04-02-02-10-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
13	移動販売事業	住民環境課	拡充	各場所での移動販売は、買い物弱者に対する支援の一環となるとともに、利用者同士の地域コミュニティの場としての機能も果たしている。引き続き、利用者の声や要望を聞きながら、さらに充実した事業となるよう努めていく。	年4回、利用者からの聞き取りを実施し、ニーズの把握を行っている。	現状維持	引き続き聞き取りを実施し、利用者のニーズ把握に努める。イオン諏訪店の新店舗開店までは現状のとおり実施する。	4,980	5,144	164
	02-01-09-22-01	生活環境係 R6～:生活相談係								
14	(新)地球温暖化対策事業	住民環境課	拡充	地球温暖化対策実行計画の実践を町民、事業者、行政が一体となって取り組むことにより、ゼロカーボンのまちを目指す。	ゼロカーボンシティ宣言を行い、川柳、ロゴマークを募集し、のぼり旗、シールを制作して、各種イベントに参加した。再エネ、省エネ設備の設置補助を実施した。太陽光発電や温泉を活用した発電の研究を行った。	拡充	再エネ、省エネ設備の設置補助をさらに充実させて実施する。ハード面では文化センターの太陽光発電設備導入調査や温泉活用の研究を、ソフト面ではイベント参加や小学生等への周知啓発活動を実施する。	3,217	6,332	3,115
	04-01-07-16-01	生活環境係 R6～:環境衛生係								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 保健福祉課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	(新)個別避難計画作成事業	保健福祉課	拡充	令和4年度は、国のモデル地区の採択を受けて3町内会(対象者9人)で実施。令和5年度は、第2区、第6区で実施。その後も計画的に全町に広げていく。	令和5年度は、第2区(対象者35人)・第6区(対象者24人)において実施。住民説明会及び対象者に計画作成について説明した結果、第2区(7人)・第6区(3人)・その他の区の希望者(8人)合計18人について計画作成ができた。また、諏訪保健所と連携し難病患者への周知を行った。	縮小	令和6年度については、区長会を通じて更に2～3地区を対象に引き続き地区を拡大し実施していくが、対象者が施設入所や入院など当初より少ないため予算規模は縮小する。	775	223	▲ 552
	03-01-01-05-01	福祉係								
2	一般介護予防事業	保健福祉課	拡充	集会形式による介護予防事業については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて以降は実開催ができた。個人の活動量が見える化する楽楽ウォッチについては、機器内に保存された歩数や活動量等のデータを保存及び印刷ができる「楽楽スポット」を町内4か所に開設した。今後も引き続き、個人が継続して介護予防活動に取り組むことができるよう必要な環境整備及びサポート体制を充実したい。	活動量計の保有者に対して、より効果的に使い続けていただくために、町保健師による血圧に関する講話指導を11月以降毎月開催した。	現状維持	活動量計活用事業については、システム構築及び楽楽ウォッチスポット整備といったハード整備が一段落し、活動量計をより有効に使っていただくための各種講座の開催や自発的な取り組みを推進するためのイベント企画などのソフト事業の充実を図ってきたい。	26,100	25,759	▲ 341
	03-01-04-12-01	高齢者係								
3	包括的支援事業	保健福祉課	拡充	高齢化率の上昇と共に支援内容が多様化してきており、相談援助や権利擁護などに加え、生活支援や認知症施策などの事業を適切に組み合わせながら総合的かつ継続的な支援を行っていく必要がある。高齢者実態調査に寄せられた町内高齢者の意見等を令和5年度に策定する町の高齢者福祉計画に落とし込みながら、各種施策の推進に取り組みたい。	9月の世界アルツハイマー月間に併せ、町図書館において認知症関連コーナーを設置して書籍や福祉機器の展示等を行い、幅広い世代の方への周知を図った。下半期では役場職員を対象とした認知症サポーター養成講座を開催した。	拡充	今後認知症を患う高齢者が急増していくことが想定されており、認知症初期段階のアプローチや認知症に対する正しい知識の啓発活動、相談援助や権利擁護など多角的、包括的に取り組んでいくことが急務となっている。引き続き認知症地域支援員や地域の医療・介護専門職の皆様との連携を図りながら着実に進めていきたい。	27,478	28,056	578
	03-01-04-14-01	高齢者係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 保健福祉課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	母子保健事業	保健福祉課	拡充	妊娠出産包括支援事業の国庫補助を活用し、産後ケア、産前産後サポート、産婦健診事業の実施により、妊娠、出産、育児を切れ目なく支援できる体制の充実を図ってきた。育児相談のニーズは多様になっており、一層の相談支援の充実が必要。令和5年度は、新生児聴覚検査受診費用の補助により、経済的負担を軽減し、全ての児が検査を受けられる体制の整備、難聴の早期発見に取り組む。	新規事業として4月から公費による新生児聴覚検査を実施。検査費用の上限5,000円までを公費負担。妊娠届出時、全ての妊婦に周知し、公費で受診できる体制となっている。	縮小	妊娠期からの切れ目ない支援のための事業を継続していく。対象者の減少により事業費全体の予算額は縮小となるが、必要な事業実施体制は確保する。	21,229	19,635	▲ 1,594
	04-01-02-10-01	保健予防係								
5	健康づくりの推進	保健福祉課	手法改善	今年度は、広報誌・新聞への記事掲載やアンケートの設問変更を行い、より健康づくりのための行動変容につながるよう工夫し事業を推進した。引き続き、健診(検診)の受診や食生活の改善、運動の実践による住民の健康づくりや疾病予防を支援し、健康寿命延伸を目指していく。	健康ポイント事業の管理シートのアンケート内容を見直し、町の健康課題に合わせた設問により健康意識の向上を図っている。(高血圧対策)	現状維持	健康啓発、意識の底上げのため、健康づくりの支援として引き続き事業継続する。	3,599	3,557	▲ 42
	04-01-05-10-01	保健予防係								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	移住定住促進対策事業	産業振興課	拡充	令和4年度における「下諏訪町移住定住促進調査委員会」の検討結果を踏まえ、令和5年度は駅前移住交流拠点施設「ら。shirotori」を閉鎖し、民間活用に向けた準備を進める他、旧矢崎商店の移住定住支援施設としての活用も見据え、空き家の流通促進に資する、家財道具処分に関する補助や、空き家を仲介した業者に対する補助を新設する他、移住定住に特化したホームページを開設する。	今年度から新たに空き家家財道具等処分補助金(1月末実績:8件 1,035,000円)、空き家仲介補助金(1月末実績 12件 660,000円)を開始した。両者とも当初の見込みを上回る申請件数で、3月議会にて補正対応。また、移住定住の新たなホームページもプロポーザルにより業者が決定し、年度内の開設に向けてサイトを構築した。	現状維持	空き家家財道具等処分補助金は予算額の変更はなく、空き家仲介補助金は実績見込みを鑑みて増額とする。また、新設したホームページの追加コンテンツ及び維持管理費を新たに予算計上。また、雇用促進と合わせた移住促進施策として、県と連携した「UIターン就業・創業移住支援事業」による補助金を創設したい。	35,985	36,012	27
	07-01-05-10-01	商工係								
2	工業の振興（商工業振興助成金）	産業振興課	拡充	町内の商工業用地は活用できる土地が少なく、地価も高価であることから新たな事業所の誘致や新設等には不利ではあるが、その中でも見つけた土地への新設等に対する補助は、町内への商工業者の呼び込みを期待できるため、町の工業振興には必要な事業である。来年度はより一層の産業振興を図るため、大型商業施設についても補助を手厚くしていく。	今年度から、商工業振興助成金に大型商業施設の補助を盛り込んで制度を拡充した。利用実績の目標は3件だが、2月末現在では1件の申請で、交付は来年度の見込み。	現状維持	先行きの見えない社会情勢を反映し、新規出店や事業拡張の気運には至っていないが、令和6年度は大型店舗の新規出店の要件で1,000万円の補助を支出する見込み。引き続き、制度周知に努めていくこととする。	10,000	10,000	0
	07-01-02-10-01	商工係								
3	勤労者福祉対策事業	産業振興課	拡充	岡谷・下諏訪地域は中小・零細企業の集積地であり、企業ごとに勤労者の総合的な福利厚生メニューを用意することが難しい。中小企業の振興及び地域社会の発展に寄与し、勤労者が働きやすい環境を整えるため、本施策が必要であることから、会員獲得に努めていく。	9月末現在の(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員数は751人であり、伸び悩んでいる。勤労者に対する福祉向上のため、引き続き制度周知を図り、会員の獲得に努めていく。	縮小	令和6年度は、(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの創立50周年を迎えるため、周年行事のなかで積極的に事業内容を周知し、会員獲得に努めていく。町からの経費持ち出しはないため、予算には反映されないが、勤労者生活資金融資預託金については利用実態を考慮し、7,000千円を減額した。	38,418	31,418	▲ 7,000
	05-01-01-12-01	商工係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	安心安全住宅改修補助金(R6～:安心安全対策・住宅省エネ化リフォーム補助事業)	産業振興課	拡充	広報活動を積極的に行い、本補助金の周知を図り、申請に対する適切な支援を行うことが必要。令和5年度は本制度に加え、住宅の維持費低減に関するリフォームを対象した補助事業として制度を拡充する。	今年度から新たにスタートした「安心安全・住宅省エネ化リフォーム補助金」の1月末現在の実績は、21件2,073,000円であり、想定よりも少ないが、下半期に入り件数が増えており、今後は実績が伸びていく見込み。引き続き制度の周知に努めていく。	縮小	軽微な改修に関する申請が多く、1件あたりの補助額が想定よりも少額であったため、現状に合わせて予算を減額する。	10,000	6,000	▲ 4,000
	07-01-02-10-01	商工係								
5	しごと創生推進事業	産業振興課	手法改善	職員に起業・創業支援のノウハウがないこと、入居者のビジネススキルの差が大きいこと等の課題はあるものの、令和5年6月にホシメバの卒業生が町内に喫茶店を開業した。今後は課題を踏まえた施設の効果的な運用方法を検討していく。	より効果的な事業運営を図るため、今年度は一旦ホシメバ入居者の募集を中止した。1月末現在の入居者は1名で、今年度末に退去予定。今年度はホシメバとしての活動は休止状態となっている。	手法改善	ホシメバの再稼働にあっては、起業意欲があり、ある程度明確なビジネスプランを持っている方、共同施設のルールを守れる方が望ましく、しっかりと入居者の選定を行うことを念頭に、令和6年度の再稼働を目指す。	2,954	2,726	▲ 228
	07-01-05-14-01	商工係								
6	(新)中小製造業者物価高騰等緊急支援補助事業	産業振興課	廃止	新型コロナウイルス対策に係る緊急経済対策として令和4年度限定で実施されたため。						0
	07-01-02-12-01	商工係								
7	(新)プレミアム付商品券発行事業支援業務	産業振興課	廃止	新型コロナウイルス対策に係る緊急経済対策として令和4年度限定で実施されたため。						0
	07-01-02-12-01	商工係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
8	(新)観光支援緊急対策事業	産業振興課	廃止	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊需要の減少が想定されたものの、本事業を有効に活用する宿泊事業者が多く、有効であったと考える。今後は、補助金での支援ではなく、宿泊需要の獲得及び観光復活に向けた本格的な取り組みが必要となるため、本事業は廃止とする。						0
	07-01-03-38-01	観光係								
9	山林の保全	産業振興課	拡充	町民の安心安全の増進及び緑豊かな里山環境の維持のために民有林の有効な保全が必要である。また、鳥獣による農林業被害は依然として甚大であり、鳥獣被害防止計画により継続的かつ、計画的に駆除を行う必要がある。また、猟友会主催の有害鳥獣駆除従事者育成講座の開催により従事者の確保を図る。	森林環境譲与税を活用し森林所有者への意向調査により、整備の遅れている民有林を集約し、森林整備を行っている。また、森林保全巡視員による森林の巡視を行い、松くい虫被害の早期発見、被害対策に努めている。 R5間伐実施面積:5.17ha	拡充	意向調査により施業地の集約化を図り、森林の整備を計画的に行う。 なお、森林の巡視や松くい虫対策を継続して行う。 R6間伐計画面積:6.94ha	9,224	10,896	1,672
	06-02-02-10-01	農林係								
10	信州産ペレット消費拡大事業	産業振興課	手法改善	長野県産の木材等の利用促進を図るために、継続的に実施すべき事業であるので、ホームページへの掲載等、機会のあるたびにPRを行う。	ホームページへの掲載や林業関係の行事によるPRを行っている。	現状維持	ホームページへの掲載や林業関係の行事によるPRを行う。	200	200	0
	06-02-02-14-01	農林係								
11	森林づくり推進事業	産業振興課	廃止	県民税活用事業で行っていたが、県の事業の見直しにより令和5年度から補助対象ではなくなったため廃止。今後は林内路網の維持修繕事業の中で、林道の法面改良等を行っていく。						0
	06-02-05-12-01	農林係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
12	町民菜園の貸付事業	産業振興課	手法改善	当町の農地は高齢化や担い手不足により、遊休農地の発生が増加傾向にある。遊休農地の解消のため、また、農業振興を図るためにもより一層の取り組みが必要な事業である。	新規町民菜園の開拓やクローズアップ等を利用し空き町民菜園の斡旋を行っている。	現状維持	新規町民菜園の開拓やクローズアップ等を利用し空き町民菜園の斡旋を行う。	364	354	▲ 10
	06-01-03-12-01	農林係								
13	農業の振興	産業振興課	拡充	機会に応じ、新規就農者の掘り起こしや農業の楽しみややりがいをPRすること、外部講師に営農指導を依頼し、実践的な技術指導を行うなど、新規就農者の確保を図る。	小学性への稲作や乙女リンゴの摘花、収穫の指導による食農教育、町民菜園の抽選会の際のJAの営農指導員による営農指導や、新規就農希望者の相談受付を行っている。	現状維持	小学性への稲作や乙女リンゴの摘花、収穫の指導による食農教育、町民菜園の抽選会の際のJAの営農指導員による営農指導や、新規就農希望者の相談受付を行う。	2,383	2,458	75
	06-01-03-10-01	農林係								
14	鳥獣被害防止総合対策事業 (R6～:鳥獣被害防止対策事業)	産業振興課	拡充	農林業被害は依然として甚大であり、鳥獣被害防止計画により計画的に駆除を行う必要があるが、駆除及びワナの設置をすれば確実に捕獲できるわけではなく、年度により捕獲数の変動があるため、継続的に事業を実施する必要がある。更に、事業を継続させていくため、猟友会主催の有害鳥獣駆除従事者育成講座を開催し、従事者の確保を図る。	R5年度は猟友会会員の増に伴い、鳥獣被害対策実施隊員による駆除体制の充実が図られた。また、有害鳥獣駆除従事者の育成として産業まつりにおいて、猟友会のPR活動を行った。なお、耕作者への電気柵等の被害対策の補助について、継続して行っている。 R5二ホン鹿捕獲実績:111頭	コスト低減	農作物、林産物を鳥獣被害から守るために、猟友会と連携し捕獲による被害対策に努める。また、耕作者が被害防止のために農地に設置した電気柵等に対し補助を行う。なお、R6年度からより適正な支出と出猟意欲の向上を目的に日当制を導入する。	3,519	2,561	▲ 958
	06-01-03-16-01	農林係								
15	柿蔭山房公開活用事業	産業振興課	縮小	令和4年度は土日祝日に公開していたが、入館者数が少なく、今後もプラス方向への伸びが期待できないことから、令和5年度は日曜日みの公開とする。ただし、見学希望の団体などへの随時公開は可能な限り対応する。	令和4年度までは土日祝日に公開していたが、入館者数が少ないため、令和5年度は日曜日みの公開とした。結果、今年度の入館者数の合計は47人で、月の入館者数は0人～15人、月平均は7.8人であり。目標値を大きく下回る数値であった。	コスト低減	今後も入館数がプラス方向へ延びることは期待できないため、費用対効果の観点から、令和6年度は定期的な公開を見合わせ、見学希望団体などへの随時公開を行うこととしたので減額となった。文化財としての建物の維持は継続して実施する。	723	492	▲ 231
	07-01-07-16-01	文化遺産活用係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
16	博物館の活動	産業振興課	拡充	令和4年度は活力のある博物館を目指して企画展に取り組み、良い成果が上がった。さらに多くの方に来館してもらえるよう、質の高い企画展を開催するとともに、展示図録の発行、ミュージアムグッズの開発などにも取り組み、多くの方に喜んでいただける博物館づくりを目指す。	今年度はゴールデンウィーク期間中に「諏訪法性の兜」の特別展示を行い9日間で1,442人の入館者を得た。その後の下駄スケートの常設展のリニューアルや、9月からは企画展を開催し、上半期の合計で2,842人となっており、目標値の約75%を達成している。	縮小	企画展を、浪人塚160周年記念の1回に絞ったため減額となっているが、他の博物館等からの資料借用や講演会の実施等、内容の充実化を図っている。また、常設展のリニューアルや新たなミュージアムグッズの開発にも取り組み、活力のある博物館運営を目指す。	2,717	1,635	▲ 1,082
	07-01-06-12-01・14-01	文化遺産活用係								
17	今井邦子文学館の維持管理	産業振興課	手法改善	コロナの影響が収まらない状況であったが、短歌がブームになっていることもあるので、常設展のリニューアルや、企画展などの開催を検討し、短歌ファンはじめ多くの方に喜ばれる事業を展開していく。	上半期の入館者数は923人で、令和4年度を92人上回る数値となっているが、目標値を下回る見込みである。一方で、今年度は従来の「邦子忌」を「今井邦子文学祭」にリニューアルし、多くの参加者を得、短歌ファンや文学ファンに喜ばれる事業展開をスタートすることができた。	コスト低減	施設の運営方法を見直し、冬季の入館者が少ない閑散期について、平日を閉館して管理費のコスト低減を図ることとしたため、減額となっている。「今井邦子文学祭」は、「しもすわ文学祭」として発展させ開催する。	2,089	1,828	▲ 261
	07-01-06-20-01	文化遺産活用係								
18	伏見屋邸の維持管理	産業振興課	拡充	コロナ後の人流の活発化を見据えて、展示会などの回数を増やすなど、多くの方に喜ばれる事業を展開していく。	上半期の入館数は4,281人で、令和4年度を798人上回る数値となっている。下半期は冬季の閑散期になるので、目標値は下回ると予測される。中でも、サポート倶楽部による展示などのイベントの開催があり、活気が戻ってきている。	コスト低減	令和6年度は施設修繕がないことと、施設の運営方法を見直し、他の分館と同様に受付を1人体制とし、冬季の入館者が少ない閑散期については、平日を閉館して管理費のコスト低減を図ることとしたため、減額となっている。サポートクラブによるイベントなどは継続する。	6,888	1,974	▲ 4,914
	07-01-06-22-01	文化遺産活用係								
19	星ヶ塔ミュージアムの維持管理	産業振興課	手法改善	コロナの影響を受けてはいるものの、観光振興局による宣伝効果で星ヶ塔遺跡への関心が全国的に高まっているので、この機会を捉えて、より多くの方に星ヶ塔遺跡を知っていただき、遺跡の魅力を感じ取ってもらえるように、展示解説の更新や、展示品のリニューアルなどを積極的な事業展開を図っていく。	星ヶ塔遺跡の観光ツアーが盛況なこと、縄文や黒曜石、また星ヶ塔遺跡への関心が高まっていることから入館者が増加し、各種団体の入館時には解説の依頼も多い。また、昨年度に引続き矢の根や前の砂場でこども対象の発掘体験を実施し、好評を得ている。	拡充	入館者が増加していることや、星ヶ塔遺跡の観光ツアーでもミュージアムの見学は好評を得ていることから、より満足度の高い展示を目指して、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、デジタルサイネージを増設する展示のリニューアルを行うため増額となっている。	3,483	9,581	6,098
	07-01-07-22-01	文化遺産活用係								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 建設水道課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	(新)都市計画道路事業	建設水道課	廃止	単年の事業のため事業終了。						0
	08-04-06-10-01	都市整備係								
2	(新)地区計画変更業務	建設水道課	廃止	単年の事業のため事業終了。						0
	08-04-01-05-01	都市整備係								
3	国道20号バイパスの建設促進	建設水道課	拡充	下諏訪岡谷バイパス第1工区は、(仮称)山田トンネル掘削が令和3年11月から岡谷市長地地区より掘削工事が進められている。また、砥川に架かる橋梁の建設のため、今後仮橋の設置に向けて事業が進んで行く予定である。今後も、地元対策委員会と連携し、住民の側に立った取組が必要である。諏訪バイパスについては、令和5年4月に一部区間(5.6km)について事業化されたが、調査区間(4.7km)が未事業化となっているため、建設促進期成同盟会とともに全線事業化及び早期完成に向けた活動を行っていく必要がある。	下諏訪岡谷バイパス第1工区内で掘削が進められている(仮称)山田トンネルについては、令和6年1月29日に本坑が貫通し、現在覆工コンクリート等の施工を行っている。諏訪バイパスについては、現在国による測量及び地質調査が行われているが、調査に先立ち町内5地区において住民説明会を開催し事業へのご理解とご協力をお願いした。また、7月と8月に建設促進期成同盟会とともに早期全線事業化及び早期完成に向けた要望活動を実施した。	拡充	下諏訪岡谷バイパスについては、砥川を横断する本線橋梁を構築するために必要となる仮橋工事を実施する運びとなっている。町としても1日も早い全線開通に向け、地元調整などの協力を引き続き行っていく。諏訪バイパスについては、測量・地質調査の結果を踏まえ道路設計を行うこととなっており、今後具体的な構造等が明確化してくるものと思われる。引き続き国や県、各地区と調整を図りながら着実に事業を推進していく必要がある。	1,010	1,108	98
	08-04-04-10-01	関連調整係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 建設水道課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	都市計画道路3・4・12号 赤砂東山田線整備事業	建設水道課	拡充	早期の完成を目指し、事業を着実に進めていくために長野県と調整をとりながら整備を進めていく。	赤砂東山田線の街路事業区間及び道路事業区間(土羽部)の詳細設計が今夏に完成したことを受け、道路設計及び用地測量説明会を順次開催し、県とともに事業へのご理解とご協力をお願いしてきた。今年1月には境界立会を実施し、事業範囲の確定を進めている。	拡充	令和6年度から事業用地の買収を進めていくことから県の事業費は大幅増の8億円を見込んでいる。本事業に関わる地権者は130人余りおり、全て個別対応となるので県と連携を図りながら進めていく。また、町としても本事業に関連して環境整備を行っていく必要があることから、地元の声を聞きながら適切に対応していくことが求められている。	9,514	89,889	80,375
	08-04-06-10-01	関連調整係								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 消 防 課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	消防団にかかる費用	消防課	拡充	災害発生時には、地域における消防団員の役割は大きい。 令和5年度から消防団員報酬を国の基準(年報酬36,500円、出勤報酬1回8,000円)まで引き上げる。	令和5年度から消防団員報酬を引き上げた。 消防団車両更新計画に基づき5分団ポンプ車を更新した。	縮小	消防力の強化のため、車両整備計画により6分団のポンプ車を小型ポンプ積載車に更新する。R5年度と導入車両が異なるため、予算規模は縮小。 劣化が激しい屯所の改修は計画的に行う。	61,210	48,439	▲ 12,771
	09-01-02-03-01・05-01・10-1・12-01、09-01-03-12-01	庶務係								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	宇宙教育事業	教育こども課	拡充	この事業を通じて、宇宙と自分たちの関わりについて、貴重な学習体験ができ、宇宙科学に興味を持たせることができる。 新型コロナウイルス感染症により、JAXA講師を招聘しての事業を行うことが出来なかった。	JAXA側の都合により、事業の推進が図れなかったため、信州大学工学部に連絡を取って、子供向けの講演を実施することで調整中。	廃止	JAXAより連携協定の解消の依頼があったことから、いったん宇宙教育事業を中止し、宇宙にとられない形で学校の授業協力ができないか考察する。	524	0	▲ 524
	10-02-02-28-01、10-03-02-30-01	教育総務係								
2	中学生海外研修事業 (R6～:中高生海外研修事業)	教育こども課	拡充	新型コロナウイルス感染症により3年連続して中止となった。令和5年度は実施したい考えであるが、当地及び現地の状況を踏まえ判断したい。	令和5年度は、3月下旬にニュージーランドへの派遣を実施する予定。	拡充	対象を高校生まで広げて実施する。実施場所は航空運賃も考慮しオーストラリアの予定。あわせて、町長を含め事前の視察も行う。これにあわせて、中学校費から事務局費へ予算科目を移動した。	4,356	12,202	7,846
	10-03-02-36-01 (R6～:10-01-02-18-01)	教育総務係								
3	下諏訪向陽高校地域連携事業	教育こども課	拡充	新型コロナウイルス感染症により、2年続けて実施は出来なかった。向陽高校にはこれまでどおり地域と連携した取り組みを実施し、補助金の申請を行うよう促していく。	三角八丁、湯の町マルシェ等への参加、全国市町村交流レガッタ・ポートサミット旗作成などの行事を通して地域や町民との交流を行った各種取組に対して補助を行った。	現状維持	平常通り、向陽高校に地域と連携した事業を実施してもらうこととして予算計上。	300	300	0
	10-01-02-05-01	教育総務係								
4	おはなしの広場・せせらぎ園運営事業	教育こども課	拡充	親子への指導・相談は必要不可欠であり、就園・就学に向け関係機関との連携を図りながら運営しているが、在園児の就学に向けての、さらなる指導及び訓練を必要とするケースが増えてきており、せせらぎ園において、令和5年度からは在園5歳児の気になる園児への新たな支援事業を行っている。	在園児の就学に向けての、さらなる指導及び訓練を必要とする要配慮園児の状況から、近隣市町の取組みを視察した。	現状維持	近隣市町でも就学前5才児を中心に小集団での要配慮園児への応援プログラムを実施しており、当町での要配慮園児の状況から、これらの支援は必要と捉え、現状維持の予算措置を行う。	7,929	8,087	158
	03-02-01-10-01、03-02-01-12-01	子育て支援係 R6～:保育係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
5	子育て支援	教育こども課	拡充	国の相談体制の推進もあり、今後、相談件数の増加が見込まれる体制整備が求められている。 令和4年度後期から家庭相談員1名の退職から人件費減となるが、2名分の予算を確保し、関係機関と連携をとりながら、相談支援体制を拡充させていく。	国の相談体制の推進により、令和6年度からこども家庭センターを設置するための準備を行っている。 家庭相談員については欠員補充の募集を行っており、希望者は数名いたが業務の特殊性から充足していない状況であるが、令和6年度に向けて確実に確保できるよう努めてまいりたい。	縮小	教育こども課へ「こども家庭センター」を設置し、保健福祉課と連携を図りながら、相談分野などによる切れ目が生じない包括的な支援を行う相談支援体制を強化していく。会計年度任用職員1人減により、予算規模縮小。	9,187	8,540	▲ 647
	03-02-05-10-01	子育て支援係 R6～:保育係、こども家庭相談係								
6	誕生祝金・有料ごみ袋・子育て支援品給付 (R5～:子育て支援品給付事業)	教育こども課	縮小	子どもの誕生に対する祝金の支給を行ってきたが、令和5年4月から保健福祉課で国の出産準備・子育て支援交付金による10万円給付が開始されたことに伴い、事業の見直しにより祝金は廃止。その他の子育て支援品支給事業、有料ごみ袋給付事業は、誕生児への祝福と健やかな成長を願い、引き続き支援していく。	子育て支援品支給事業、有料ごみ袋給付事業は、民生委員を通じて対象世帯へお祝いの気持ちを込めて配付いただいている。	縮小	今後も子育て世帯への支援の一環として引き続き支給を行うため、必要額を予算計上する。町独自で行う子育て応援カードについて、協賛事業所の意向確認、入浴券対象者について見直しを行い、より使いやすいものとなるよう検討したい。	528	361	▲ 167
	03-02-05-12-01	子育て支援係 R6～:保育係								
7	子育てふれあいセンター事業	教育こども課	手法改善	子育て親子や高齢者がふれあえる場所として、引き続き事業を行っていく。少子化の進行に加え、コロナ禍のなか、利用制限等の影響もあり、令和4年度の利用者数が落ちてはいるが、令和5年5月の警戒レベル見直し等に伴い、利用の周知等を積極的に行い、令和4年度目標値を目安に利用の促進を図っていく。	コロナ前の利用水準にはまだ達してはいない現状であるが、徐々に回復傾向にある。	現状維持	コロナ明け後、利用者が戻ってきている状況を踏まえ、現在の施設環境を維持していくうえで必要最低限の修繕も行い、利用者が不便なく使用するために必要な予算措置を行う。	12,474	12,104	▲ 370
	03-02-06-10-01・12-01・14-01・16-01	子育て支援係 R6～:こども家庭相談係								
8	青少年健全育成事業	教育こども課	手法改善	青少年の健全育成及び非行防止を進めるため、町民及び各種団体との連携を強化する。また、指定施設利用奨励補助金については、南知多町だけの施設ではあるが、施設等と連携しながら事業内容の周知を図っていく。	R5年度実績としては9世帯に対して補助をした。コロナ禍と比べると申請数や問い合わせが増えてきたが、依然コロナ感染を危惧する声や申請後のキャンセルがある状況。	現状維持	コロナ禍が明け、申請数が増えることが期待される。コロナ禍前の実績も考慮し、より多くの町民に活用頂けるよう、所要の予算措置を行う。	1,762	1,712	▲ 50
	10-04-02-16-01	子育て支援係 R6～保育係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
9	放課後子ども教室の推進	教育こども課	手法改善	児童、保護者に変好評価であるが、令和4年度はコロナ禍の中、殆ど中止され利用実績は減少している。令和5年度からコロナの感染対策が見直される中、活動内容やスタッフの人員確保等、児童を最優先に考えて進めていき、引き続き児童の参加しやすい環境づくりに努めたい。	R5年度は学校の都合以外での中止は無く、コロナ前と同等の回数開催することができたことにより、実績として増加している。	現状維持	引き続きスタッフ等による安全管理のもと、児童の居場所づくりとして事業を継続する。	1,842	1,916	74
	10-04-02-18-01	子育て支援係 R6～保育係								
10	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	教育こども課	廃止	本事業は全額国庫負担ということで令和3年度事業として実施され、令和4年度は、3月末出生の対象児童のみ、繰越し事業として実施したが、令和5年度は実施の予定が無いため廃止。						0
	03-02-05-14-01	子育て支援係								
11	(新)子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	教育こども課	廃止	事務事業名としては前年度と同一ではあるが、本事業は令和4年度限りで行われた国の事業となる。令和5年度でも同名の事業が、国の補正事業として新たな追加事業として行われる。						0
	03-02-05-018-01	子育て支援係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
12	公民館活動の振興と各区分館への支援	教育こども課	拡充	伝統文化など不変的な内容の講座は維持しつつも、令和4年度はデジタル機器の取扱いに資する講座を行った。令和5年度はさらに世代や社会のニーズを積極的に取り入れた企画に取り組む。集会形式にとらわれず、オンライン開講などデジタル技術の活用にも貪欲に挑戦していく。	上半期実施事業 ○講座[申込人数] ・シニアのLINE入門[15] ・はじめての写真・動画編集[10] ・ビギナー向けスマホ (1期[15]・2期[15]) ○オンライン講座 ・K-popから学ぶ韓国語[6] ○YouTube配信 ・お騎馬の由来と構成 ・御柱と神仏習合 下半期実施事業 ○講座 ・シニアのためのスマホアプリ[10] ・出張ビギナー向けスマホ (5区[1]、8区[3]、9区[3]、10区[10]) ○YouTube配信(編集都度)	縮小	デジタル活用技術の向上に資する講座の継続及び多種多様な講座の実施を通じた「学び」の活動のきっかけづくりサークル化の奨励。 前年度LAN環境整備及びスポットライト増設の工事費が計上されていたことの反動による減。	5,111	4,740	▲ 371
	10-04-03-05-01・10-01	生涯学習係								
13	勤労青少年ホームの活動	教育こども課	拡充	伝統文化など不変的な内容の講座は維持しつつも、世代や社会のニーズを積極的に取り入れた企画に取り組む。 集会形式にとらわれず、オンライン開講などデジタル技術の活用にも貪欲に挑戦していく。		現状維持	デジタル活用技術の向上に資する講座の継続及び多種多様な講座の実施を通じた「学び」の活動のきっかけづくりサークル化の奨励。	910	910	0
	05-01-02-10-01	生涯学習係								
14	総合文化センターの運営管理と自主事業	教育こども課	拡充	「改修計画」に沿った改修を行うことで、老朽化により、利用者に満足いただける演出ができない状況を改善するとともに、「運営方針」に則った運営を進めることで、利用率の向上を図る。	「実施設計(修正・追加)」実施済。 期 間: R5.6.12から12.28まで 契約日: R5.6.8 受託者: アルファ設計(株) 契約額: 11,220,000円	拡充	音楽ホールとしての音響性能の維持及び特定天井の改修による安全性の確保のため、技術力に対する信頼性を確保した上で適切な施工を行う。 大ホール改修の「実施設計」において積算された改修費用を反映したことに伴う増。	71,845	938,070	866,225
	10-04-06-10-01・12-01	生涯学習係								
15	生涯学習・社会教育の推進	教育こども課	拡充	アフターコロナを踏まえた「学び」の再開と活動の活性化を支援していく。 支援の手段として、歴史文化遺産補助金の認知度が上がるよう、周知普及を図っていく。	歴史文化遺産事業補助金の活用申請者は4件(R5.10.31現在)だが、アフターコロナにより分館以外の団体にまで申請者の幅が広がってきた。 ・分館: 2館(2区、4区) ・社中PTA文化委員会 ・下諏訪みらい塾デジタルアーカイブ班	拡充	・紙芝居の発表を通じた黒曜石学習の推進と社会教育委員の活動の活性化 ・二十歳を祝う会での祝福を通じた文化遺産により、郷土愛や故郷回帰を育む。	8,658	8,835	177
	10-04-01-05-01・12-01	生涯学習係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
16	高浜健康温泉センターゆたん歩の運営	教育こども課	手法改善	前年から続く新型コロナウイルス感染症に伴う、休憩室など施設の利用制限の影響により、入館者数が伸び悩むものの、徐々に回復基調が見えつつある。引き続き、利用者数をコロナ前の水準に回復させるための取り組みが必要である。	施設の利用制限をすべて解除し、通常どおり開館しており、入館者数もコロナ前の水準に回復しつつある。開催を控えていたイベントも再開し、利用拡大に努めている。	拡充	引き続き、安心安全にご利用いただける管理運営を心がける。令和6年度は開館から10周年にあたるため、記念事業を実施し、利用の回復にも繋げていく。機械設備の修繕を行うため、所要の予算を計上する。	27,610	31,740	4,130
	10-05-04-10-01	健康サポート係								
17	健康運動支援事業	教育こども課	手法改善	指標としている、健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス教室」については、町民のニーズを把握したうえで、講座内容を見直すなど手法の改善が必要である。	健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス」をはじめ、各種の講座を開催している。内容についても、これまでの実施内容をもとに受講者のニーズにより見直しを行い、受講の拡大に努めている。	手法改善	町職員(健康運動指導士)に加え、健康サポーターが担当する運動講座を開催するとともに、カバーできない分野については外部委託による教室等を実施し、幅広い年齢層の運動機会の増進を図っていく。委託内容の見直しに伴い減額。	2,864	2,607	▲ 257
	10-05-04-14-01	健康サポート係								
18	スポーツの振興	教育こども課	手法改善	令和5年度より新たに策定した「第3期下諏訪町スポーツ推進計画」に基づく施策展開の必要があるため、手法改善とした。また、新型コロナウイルス感染症によるイベント開催見送り等が解消されつつあり、参加者も回復基調にあるため、現状の施策に係る経過を確認する必要もある。	入念な準備を進めてきた町制130周年記念事業としたオリンピック講演会及び全国市町村交流レガッタは、無事開催された。	縮小	スポーツ教室は、大変好評だったことから町スポ協からも継続した開催の要望もあり、引き続き予算措置する。またR6年度の全国市町村交流レガッタは鹿児島県での開催となるが、選手の遠征費等を精査し、必要な予算を措置する。	17,313	11,977	▲ 5,336
	10-05-01-05-01・10-01	スポーツ振興係								
19	スポーツ施設の整備充実	教育こども課	手法改善	計画的に体育施設の整備・更新等を進めているものの、廃止や大規模改修が必要な施設について、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な改修・除却を行う必要がある。また、継続的な維持管理を実施していくためにも民間を活用した指定管理者制度の導入など運営方式を含めた幅広い研究が必要となる。	R5で予定した体育館の非常用電源改修工事は、11月から現場掘削工事を開始し、現設備から新設備への切替工事を計画通り実施。	縮小	施設調査や経過年数から必要な施設改修を計画的に進めている。R6年度は大規模な修繕等は予定していないものの、老朽化が進んでいるスポーツ施設が多数存在するため、引き続き、計画的に改修工事を実施していく。	58,486	27,873	▲ 30,613
	10-05-02-10-01、10-05-03-05-01・10-01	スポーツ振興係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和4年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた 上での令和5年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和6年度当初予算に対する考え方		R05予算額	R06予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
20	(新)ナックルフォア艇購入事業	教育こども課	廃止	予定した事業を完了したため、廃止とする。今後購入した艇による事業効果及び利用状況を注視し、引き続きスポーツ環境の向上に努める。						0
	10-05-03-10-01	スポーツ振興係								
21	(新)スポーツ推進計画策定事業	教育こども課	廃止	本計画の期間は、令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)までの5年間であり、策定が完了したため事業終了となった。 なお、次期計画の策定は2027年度であり、新たに計画に盛り込む事項が生じた場合や内容に変更が生じた場合には、必要に応じて計画を見直す。						0
	10-05-01-12-01	スポーツ振興係								
22	(新)オリンピック交流継承事業	教育こども課	拡充	令和4年度においては、アルゼンチンの来訪を実現し、感謝状の贈呈を受ける等、事後交流事業を遂行することができた。両国との今後の交流についての折衝・調整、検討を進めることができたため、今後具体的な連携に向けた取り組みを推進する必要がある。	持続可能な交流事業となるよう、漕艇場などを保有する自治体との文化・スポーツ交流を最終目標として、オリンピック事前合宿実施国との調整・交渉等を関係諸機関を通じて実施している。	手法改善	レガシー継承事業として、オリンピック事前合宿国の関連団体等と持続した交流事業を展開するために必要な調整・交渉等を継続して進めていく。	1,500	1,000	▲ 500
	10-05-01-10-01	スポーツ振興係								
23	地域資料保存事業	教育こども課	拡充	この事業は現在、図書館運営のサイト「みんなでつくる 下諏訪町デジタルアルバム」に集約されている。当時の歴史・文化を知る一助として、今後も文化の継承と地域活性化に役立てたい。また、過去の写真だけでなく、現在の町を映した写真の投稿についてもPRし、継続的に新しい資料を保存・検証し、より充実したサイトを目指す。	デジタルアルバムからテーマに沿った写真を解説付きで紹介、また写真からみる下諏訪町の歴史を新聞にして配布を行うなど、写真データの活用方法について参考になる展示を館内で行っている。下半期にデジタルアルバムを活用した講座を開催。	現状維持	デジタルアルバムへの継続的なデータの収集のために、多くの方から写真の投稿や寄贈をいただけるよう周知を常に行っていく。またデジタルアルバムの具体的な活用方法を提示し、データ活用をとおして当町の歴史・文化を広めていくために、サイトの運営費用など所要の予算を計上する。	145	145	0
	10-04-04-12-01	図書館								

〈令和4年度事務事業評価シートから転記〉